



令和8年3月2日

渋谷区立松濤中学校 学校だより

世界へ松濤中生 Grow(自律) Respect(尊重) Create(創造)

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/shotoj>



喜びや悔しさとともに語られた「感謝」の言葉

校長 中村 哲也

2月に開催されたミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピックで、日本選手の素晴らしい活躍が見られました。金5・銀7・銅12、計24個のメダルを獲得しました。スノーボード、フィギュアスケート、スキージャンプ、スピードスケートを中心に、幅広い競技で表彰台に立ちました。特にスノーボードとフィギュアはメダルラッシュとなり、日本の冬季五輪通算メダル100個到達という節目も達成しています。惜しくもメダルに届かなかった選手も、最後まであきらめず戦っていました。

今大会の日本人選手インタビューで印象的だったのは、喜びや悔しさなどの結果への率直な感情を語った直後に、「感謝」への気持ちを言葉にしていた点です。

例えば、フィギュアスケートの女子シングルで銀メダルを獲得した坂本花織選手は、この大会が「最後のオリンピック」として引退を表明していました。演技後は達成感と悔しさをにじませつつ、支えてくれたコーチへの感謝を強調しました。自分一人の結果ではないという認識が明確でした。フィギュアスケートのペアに出場した三浦璃来選手、木原龍一選手は大逆転の金メダル後、喜びと同時に「7年間積み重ねてきた過程」や「たくさんの支えてくれた人たち」への感謝を強調していました。フィギュアスケートの男子シングルでは、銀メダルの鍵山優真選手と銅メダルの佐藤駿選手がともに表彰台に立ちました。二人は、結果への満足・悔しさを語った後、互いに切磋琢磨できた環境への感謝に言及し、「一人では辿り着けなかった」という言葉が共通していました。スノーボードでは、女子スロープスタイルに出場した深田茉莉選手がこの種目で日本女子初の金メダルを獲得しました。「信じられない」と感情を吐露した後、支えてくれたコーチ・チーム、そしてこれまでの挑戦を許してくれた周囲への感謝を表明。若さの中に成熟した視点がありました。スノーボード女子ビッグエアで金メダル、女子スロープスタイルで銅メダルの村瀬心椛選手は、スロープスタイルの試合後に悔しさを抑えながら深田選手と健闘を称えあい、応援や環境への感謝を語り、次への決意につなげる言葉が印象的でした。

オリンピックの舞台に立った選手たちは、世界一を争う極限の緊張の中で、自分の力だけではここに到達できなかったことを、言葉にしていました。うれしい結果のときも、悔しい結果のときも、自分が競技を続けるために支えてくれた人たちへの感謝の思いでした。

皆さんも、この一年を振り返ってみてください。努力が結果につながった経験もあれば、悔しさを感じた場面もあったでしょう。しかし、その一つ一つの挑戦のそばには、声をかけてくれた友達、励ましてくれた家族の存在があったのではないのでしょうか。オリンピック選手の言葉は、そのことを私たちに教えてくれています。

卒業する皆さんは、新しい場所へと歩み出します。進級する皆さんは、これまでより一步成長した自分として次の学年へと進みます。次の場所へ進む前に、ぜひ考えてみてください。「自分は、誰に支えられてここまで来たのだろうか。」

感謝の気持ちをもつことによって、人とのつながりを力に変え、次の一步を踏み出す原動力になります。この一年間の自分の頑張りを誇りに思うとともに、支えてくれた人たちへの感謝を胸に、次のステージへ進んでいってください。皆さん一人ひとりの新しいスタートを、心から応援しています。

(注：事実関係と発言は、主にNHK および Olympics.com (公式) の報道・インタビューに基づいています。)

令和7年度学校評価

令和7年度学校評価についてお知らせします。昨年11月に保護者の皆様やSAMS協議会委員の皆様を対象に実施いたしましたアンケート結果も踏まえながら、先日SAMS協議会において学校関係者評価を行いました。アンケートに御協力くださり、ありがとうございました。以下にその結果をお知らせいたします。今年度も昨年度と同じ渋谷区の様式で、評価が「取組(内容)に関する評価」と「(取組の)成果に対する評価」に分かれております。例えば A/A と記載されているのは、/(斜線)の前が「取組に関する評価」で、/(斜線)の後ろが「成果に対する評価」を表しています。

(1)子ども主体の学校づくりの推進	自己評価	関係者評価
①生徒主体による学校運営への参画の推進	B/B	A/A
②生徒主体の課題発見・解決力の育成	A/A	
③多様な学び方・個別最適な学びの推進	A/A	
④挑戦する姿勢・失敗から学ぶ力の育成	A/A	
(2)新たな学びの実現	自己評価	関係者評価
①個別最適な学び・協働的な学びの充実	A/A	A/A
②探究「シブヤ未来科」の充実	A/A	
③学習者用デジタル教科書やデジタル教材の活用の促進	A/A	
④国際化・グローバル化に対応できる人材の育成	A/A	
(3)安心・安全に挑戦できる環境	自己評価	関係者評価
①多様性の理解	A/A	A/A
②特別支援教育、インクルーシブ教育の充実	A/A	
③いじめ防止対応と不登校生徒への早期対応	A/B	
④デジタル・シティズンシップの教育	B/B	
(4)校務DX(働き方改革)	自己評価	関係者評価
①校務DXの推進(Teams等の有効的な活用)	A/A	A/A
②Home&Schoolの活用など、ICTを活用した校務の効率化	B/B	
③資料のデータ化、ペーパーレス化の推進	A/A	
(5)家庭・地域との協働	自己評価	関係者評価
①学校運営協議会(SAMS協議会)の活動の推進	A/A	A/A
②学校行事への地域の参加・地域行事への学校の参加	A/A	
③保護者、地域等の外部資源の活用	B/B	
(6)特色ある教育活動	自己評価	関係者評価

①英語教育重点校としての取組と各教科における国際理解教育の充実	A/A	A/A
②青山キャンパスを活かしたシブヤ「未来の学校」モデルの発信	B/B	
③小中連携、広尾中との連携	B/B	
④渋谷ユナイテッド(渋谷区スポーツ協会)との連携	A/A	

・自己評価…学校側の評価

(取組に対する評価/成果に対する評価) A:十分達成 B:概ね達成 C:不十分

・関係者評価…SAMS 協議会での評価

(取組に対する評価/成果に対する評価) A:十分達成 B:概ね達成 C:不十分

令和7年度学校評価 アンケート結果

令和7年度学校評価アンケートにつきまして、保護者の皆様ならびに関係者の皆様に御協力いただき、誠にありがとうございました。今年度は回答率 56.8%となり、昨年度(45.7%)を上回る多くの皆様から御意見をいただきました。学校の取組に関心をもち、声を届けていただいたことを大変ありがたく受け止めております。

教育活動に関する項目では、主体的・対話的な学びや探究的な学習、ICT を活用した授業について、多くの肯定的な回答が見られました。本校が進めてきた「新たな学び」の取組が、一定程度伝わっていることをうれしく受け止めております。また、「安心して学習に取り組める環境」や「相談への対応」についても前向きな評価をいただきました。一方で、いじめ防止の取組などについては、「分からない」との回答も見られ、取組内容をより分かりやすく伝えることの重要性を改めて認識しております。校務 DX の取組では、学校だよりや連絡のデジタル化・ペーパーレス化について高い評価をいただきました。

本校では、今回のアンケート結果を今後の学校運営に生かし、成果はさらに伸ばし、課題は改善につなげてまいります。引き続き、本校の教育活動への御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

A:十分達成されている B:達成されている C:あまり達成されていない D:達成されていない E:分からない

1 学校における教育活動

(1)お子さんは自ら進んで授業をはじめとした学校の学習に取り組んでいますか。

A	B	C	D	E
37.5%	34.9%	15.6%	7.3%	4.7%

(2)学校は、お子さんの進度や習熟度に応じた授業や支援を行っていますか。

A	B	C	D	E
27.7%	38.0%	13.5%	7.8%	13.0%

(3)学校は、子供同士で意見交換したり、調べたりする等、協働的・対話的な学びがある授業を行っていますか。

A	B	C	D	E
40.7%	35.4%	10.4%	3.1%	10.4%

(4)学校は、探究「シブヤ未来科」の学習を通して、自ら課題を設定して解決への見通しを考えたり、考えたことを発表したりする学習を推進していますか。

A	B	C	D	E
34.9%	37.5%	12.0%	3.6%	12.0%

(5)学校は、質問(1)から(4)の授業を推進するために、お子さんのタブレット端末を効果的に使っていますか。

A	B	C	D	E
38.5%	33.3%	14.1%	2.1%	12.0%

2 安心・安全に挑戦できる環境

(1)お子さんは安心して学習に取り組むことができましたか。

A	B	C	D	E
39.6%	40.6%	8.9%	3.6%	7.3%

(2)学校は、お子さんや保護者の相談に誠実に対応していますか。

A	B	C	D	E
46.5%	28.6%	10.9%	3.1%	10.9%

(3)学校は、いじめ対応の方針をお子さんや保護者に明確に伝え、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めていますか。

A	B	C	D	E
33.3%	30.2%	11.5%	4.7%	20.3%

3 校務DXへの取組

(1)学校は、学校だよりなどの配布物や調査等について、学校ホームページや Home&school 等を活用して、ペーパーレス化を推進していますか。

A	B	C	D	E
62.5%	25.5%	6.3%	2.1%	3.6%

4 家庭・地域との協働

(1)学校は、教育の方針を分かりやすく伝えていますか。

A	B	C	D	E
40.6%	39.6%	9.9%	4.2%	5.7%

(2)学校は、家庭・地域の理解と協力を得て、教育活動を推進していますか。

A	B	C	D	E
43.2%	39.6%	6.8%	3.1%	7.3%

(3)お子さんが渋谷区の学校で教育を受けていることに誇りを感じていますか。

A	B	C	D	E
42.8%	34.9%	10.9%	3.1%	8.3%

(4)学校行事へ積極的に参加しましたか。

A	B	C	D	E
55.7%	26.6%	9.9%	3.6%	4.2%

5 特色のある教育活動

(1)学校の教育活動は、学校の特色が表れたものになっていますか。

A	B	C	D	E
55.2%	31.3%	8.3%	1.0%	4.2%

(2)学校は、デジタル・シティズンシップが身に付くようにタブレット端末を適切に活用した教育活動を推進していますか。

A	B	C	D	E
39.1%	41.1%	10.4%	2.6%	6.8%

渋谷区立学校教員表彰

<推薦基準> ICTの活用
(国語科)

東京都公立学校美術展覧会

技術 (本棚とスマホスタンド)

(1 B)

技術 (スライド式本棚)

(1 B)

家庭科 (トートバッグ)

(2 A) ・ (2 A)

(2 B) ・ (2 B)

(2 B)

国語 (書初め)

(3 C) ・ (2 C)

美術 (New Year's Card)

(1 B) ・ (1 C)

(2 A) ・ (2 B)

美術 (アニメーション「マシュマロ」)

(2 C)

美術 (ミニチュア模型)

(3 A) ・ (3 A)

(3 B) ・ (3 B)

(3 C)

3月の主な予定

2日 (月) 全校朝礼

4日 (水) 校内研修会 TLD

6日 (金) 安全指導・点検日

7日 (土) クリーンキャンペーン

9日 (月) 生徒会朝礼

10日 (火) 避難訓練

17日 (火) 卒業証書授与式予行

19日 (木) 卒業証書授与式

23日 (月) 保護者会

24日 (火) 大掃除

25日 (水) 修了式・職員会議

26日 (木) 春季休業日 (始)・SAMS

